

地域県土警察常任委員会資料

(令和7年9月12日)

[件 名]

- 第69回鳥取県美術展覧会（県展）の開催について
【文化政策課】・・・2ページ
- 「BeSeTo演劇祭29＋鳥の演劇祭18」の開幕について
【文化政策課】・・・3ページ
- 鳥取県立美術館の開館半年間の運営状況等について
【美術館】・・・4ページ
- 鳥取県日野郡連携会議の開催結果について
【西部総合事務所日野振興センター日野振興局】・・・6ページ

地域社会振興部

第69回鳥取県美術展覧会（県展）の開催について

令和7年9月12日

文化政策課

本県では、県民の創作活動の推進と鑑賞の機会を図り、美術、文化の振興に寄与することを目的として、毎年、広く県民から美術作品を募り、優れた作品を展示する鳥取県美術展覧会（以下「県展」という。）を実施しています。

この度、第69回県展の審査会を行い、入選及び受賞作品を決定しました。9月13日（土）に初開催会場となる県立美術館で開幕後、県内3箇所で開催を実施しますので報告します。

1 出品状況

（1）部門数 洋画・日本画・版画・彫刻・工芸・書道・写真・デザインの8部門

（2）出品数 合計 541点（前年度：548点）

（うち学生又は18歳以下の出品数 42点（前年度：46点））

部門	洋画	日本画	版画	彫刻	工芸	書道	写真	デザイン	合計
一般応募作品	82 (68)	22 (24)	13 (14)	11 (12)	41 (44)	97 (110)	122 (123)	35 (36)	423 (431)
無鑑査等作品	19 (18)	12 (13)	9 (8)	5 (6)	12 (11)	33 (34)	23 (22)	5 (5)	118 (117)

※（ ）は前年度の出品作品数

※無鑑査等＝無鑑査作家、審査員、県展運営委員

（無鑑査作家：県展運営部会実施要領で定める資格要件を満たし、無審査で毎年作品の展示が行われる作家）

本年度は、全出品数が541点となり、前年度より7点減少したが、洋画部門が大きく増加し、5年ぶりに一般応募作品が80点を超えた。

また、学生又は18歳以下の出品数は、前年度より4点減少したが、洋画、写真部門が増加したほか、昨年度は応募が無かった彫刻部門で出品があった。

2 審査結果等

（1）入選作品数 302点（前年度：285点）

部門	洋画	日本画	版画	彫刻	工芸	書道	写真	デザイン	合計
一般応募作品	60 (48)	16 (15)	9 (10)	9 (9)	29 (30)	69 (72)	85 (78)	25 (23)	302 (285)

※（ ）は前年度の入選作品数

（2）受賞作品数 入選作品のうち県展賞15点（各部門1～3点）奨励賞33点（各部門2～8点）

初出品の受賞者は5名（県展賞：彫刻、デザイン各1名 奨励賞：洋画、工芸、デザイン各1名）となり、昨年度より1名増加した。うち、デザイン部門では学生、彫刻部門では10代の初出品者が県展賞を受賞し、若手の才能発掘につながった。

また、初出品で入選以上となった作品は45点で、うち20代以下の割合が73%であった。県立美術館での県展開催が、特に若い世代の新たな出品者の獲得につながったと見られる。

3 展覧会の概要

（1）展示作品数 420点（入賞・入選作品302点、無鑑査等の作品118点）（前年度：402点）

※日南会場は、受賞作品及び当該地域の出品者等の作品を中心とした選抜展を実施する。

（2）日程

地区	会場	会期
倉吉会場	鳥取県立美術館	9月13日(土)～9月21日(日) ※表彰式9月12日(金)
鳥取会場	鳥取県立博物館	前期：9月27日(土)～9月30日(火) (部門：日本画、工芸、書道、デザイン) 後期：10月3日(金)～10月6日(月) (部門：洋画、版画、彫刻、写真)
米子会場	米子市美術館	10月11日(土)～10月19日(日)
日南会場（選抜展）	日南町美術館	10月25日(土)～11月2日(日)

※ギャラリートークは、倉吉会場、鳥取会場、米子会場で実施します。

「BeSeTo演劇祭29 + 鳥の演劇祭18」の開幕について

令和7年9月12日
文化政策課

今年、第29回を迎える国際演劇祭「BeSeTo演劇祭」が、9月20日(土)に開幕するので報告します。

1 BeSeTo演劇祭

- ・1994年(平成6年)に、中国・韓国・日本の3名の演劇人が呼びかけ立ち上げた演劇祭
- ・北京(Beijing)、ソウル(Seoul)、東京(Tokyo)の頭文字をとって「BeSeTo」と名付けられ、韓国→日本→中国の順に持ち回りで開催
- ・相互の文化の違いを認識しつつ、共同作業を行うことによって芸術を核とする相互理解を進めるとともに、世界文化への貢献を目指すことを目的とする。
- ・平成26年度に「鳥の劇場」中島諒人代表が日本BeSeTo委員会代表に就任したこともあり、平成28年度から日本開催時の主会場を鳥取県に移し開催。これ以降、鳥の劇場主催の国際演劇祭「鳥の演劇祭」と一体的に開催し、日中韓以外の国から招聘した劇団・作家等の作品も同時期に楽しめるよう企画されている。
- ・令和2～4年はコロナ禍の影響により開催中止。鳥取県での開催は令和元年以来、6年ぶりとなる。

2 プログラム概要

期 間：9月20日(土)～10月12日(日) [8日間、18作品上演]

会 場：鳥の劇場、とりぎん文化会館、鳥取県立美術館(ひろま)、米子市公会堂 等

チケット：8月17日(日)から鳥の劇場HP等で販売中

若者に演劇を楽しんでもらうため、期間中上演プログラム見放題のU-18、U-25パスポートも販売中

<主な演目>

上演日	プログラム	会場
9月20日、21日	「シャイニング・フレンズ」(中国) 夢と友情のミュージカル	米子市公会堂
9月27日、28日	「ロゼッタ」(韓国) 人種・障がいなどの壁に立ち向かう物語	とりぎん文化会館
10月4日、5日	「梨っこ」(日本 鳥の劇場) 親子で楽しめる演劇	鳥取県立美術館
10月11日、12日	学生演劇(日中韓 各国学生)	鹿野町内各施設

<主なプログラム(演劇以外)>

- ・BeSeTo シンポジウム「演劇におけるポストヒューマン的転回」(10/4、10/5)
- ・日中韓学生ミーティング(10/12)

3 その他

<日帰りバスツアー>

新日本海新聞社が演劇祭と県立美術館を巡るバスツアーを実施(9/21、9/27、9/28の3コース)

◎コース例：鳥取駅前 出発 → 鳥取県立美術館(鑑賞) → 昼食(東郷温泉水明荘) → 鹿野町 散策
→ 鳥の劇場(観劇) → 鳥取駅前 解散

<宿泊付きバスツアー>

鳥の劇場が株式会社JTB 鳥取支店と連携し、演劇祭と鳥取民芸美術館など県内の文化芸術施設を巡る宿泊付きバスツアーを実施(9/20～22、9/27～9/28、10/4～10/5、10/12～13の4コース) ※

※鳥の劇場が補助金申請し、観光庁補助金で実施

◎コース例

【1日目】鳥取駅前 出発 → 鳥取民芸美術館(解説付き鑑賞) → 鳥取砂丘 → 砂丘会館(昼食)
→ いなば西郷工芸の郷 カフェ okudan(講話、喫茶) → 議場劇場(観劇)
→ 鳥の劇場(観劇、出演者との交流夕食会) → 宿泊(鳥取市内)

【2日目】宿泊地 → 鹿野往来交流館 童里夢(観劇) → 昼食(日本料理 飛鳥) → 白壁土蔵群 散策
→ 鳥取県立美術館(観劇、俳優による演劇ワークショップ) → 鳥取駅前 解散

鳥取県立美術館の開館半年間の運営状況等について

令和7年9月12日
美 術 館

鳥取県立美術館の開館半年間の運営状況及び今後予定している企画展・コレクション展等についてご報告します。

1 これまでの利用者数等

(1) 利用者数(企画展・コレクション展観覧者、関連プログラム参加者、ショップ・カフェ利用者等)

- ・3月30日(開館初日) 3,500人達成
- ・4月20日 3万人達成
- ・4月26日～5月6日(ゴールデンウィーク期間) 24,978人(館外イベントを含む)
※月曜日も開館 ※5月5日に夜間開館(午後9時まで)実施
- ・5月5日 1日の最多利用者数5,562人
- ・6月14日 10万人達成(無料ゾーンも含む)
- ・6月28日・29日 コレクション展観覧者の計9,219人
※株式会社日本海新聞社の法人スポンサー「コレクション展パートナー」によるコレクション展の観覧無料デイ及びイベント「日本海新聞&NCN アーッと楽しい感謝祭 in 県美」の開催
- ・8月2日 夜間開館時間帯 2,078人(県立美術館前の史跡公園で倉吉打吹まつり開催)
- ・8月9日～8月17日(お盆期間) 24,144人
※月曜日も開館 ※8月9日及び10日の夜間開館時間帯の利用者計1,672人
- ・9月12日 20万人達成見込み
※「とっとり県民の日」コレクション展観覧無料(通常:一般400円、学生・70歳以上200円)
※鳥取県立美術館利用者20万人記念セレモニーを実施予定

(2) 企画展・コレクション展観覧者数

- ・「アート・オブ・ザ・リアル」 50,810人(3月30日～6月15日)
- ・「水木しげるの妖怪 百鬼夜行展」 34,920人(7月19日～8月31日)
- ・コレクション展のみの計 20,379人(3月30日～8月31日)

期 間	利用者数	うち、企画展・コレクション展観覧者数
令和7年3月30日～8月31日	194,546人	106,109人 ※企画展・コレクション展 85,730人 ※コレクション展のみ 20,379人
うち3月30～6月15日 「アート・オブ・ザ・リアル」会期中	103,626人	54,609人 ※企画展・コレクション展 50,810人 ※コレクション展のみ 3,799人
うち7月19日～8月31日 「水木しげるの妖怪 百鬼夜行展」会期中	63,984人	38,212人 ※企画展・コレクション展 34,860人 ※コレクション展のみ 3,352人

※夏休み前に、県内すべての小学生に無料観覧券を配布し、家族等での来館が見られた。

無料観覧券による小学生の観覧 1,666人(7月19日～8月31日)

2 当面予定している企画展・コレクション展等

(1) 3階 企画展示室

鳥取県美術展覧会(県展)(9月13日～21日) ※1階県民ギャラリーにおいても展示 【概要】9月13日から県立美術館(倉吉会場)を皮切りに、県内4会場で開催される。 【関連イベント】表彰式、ギャラリートーク、鑑賞者投票 等
The 花鳥画 ～日本美術といきものたち(10月11日～11月24日) 【概要】江戸時代を中心とした多彩な花鳥画作品を一堂に展示(約120点)し、日本美術における動植物を主題とするアートの諸相とその魅力について紹介する展覧会。令和5年度に収集した伊藤若冲(いとうじゃくちゅう)の墨画「花鳥魚図押絵貼屏風(かちょうぎょずおしえばりびょうぶ)」を収集後初めて公開する。 【関連イベント】特別講演会、県立博物館の自然科学分野の学芸員によるスペシャルトーク、展示作品に登場する動物にまつわる演目の落語イベント 等

(2) 2階 コレクションギャラリー

辻晋堂の世界03／アジアの染織02 岡村コレクションから ※ブリロ・ボックス展示 (8月5日～9月28日 コレクションギャラリー3)
没後70年 日本画家・中島菜刀 (前編8月5日～9月28日／後編10月9日～12月7日 コレクションギャラリー5)
アールブリュット展in鳥取県立美術館 ※「障害者の文化芸術国際フェスティバル in大阪・関西万博」プレイベント (9月13日～9月28日 コレクションギャラリー4)
あーとのとびらをひらく展覧会シリーズ 小松宏誠展 光と影のモビール、けしきと歌 (9月20日～11月9日 コレクションギャラリー1、コレクションギャラリー2)
「ブリロ」が「モリロ」と出会ったとせよ ※ブリロ・ボックス展示 (10月9日～12月7日 コレクションギャラリー3)
垣田堅二郎コレクション 写真コレクションより(人物) (10月9日～12月7日 コレクションギャラリー4)

3 県立美術館及び県立美術館前の史跡公園を会場としたイベント等

鳥取県立美術館開館半年記念イベント「アート&グルメ 食パラダイス鳥取県2025」 ・9月21日(日) 午前11時～午後8時 ・共催 鳥取県・鳥取県フードブース振興協会 ・内容 美味しい鳥取グルメ25店の出店、ステージイベント開催、 鳥取県の食にまつわる食パラダイズラリー、こどもえんにち 等
やきとりJAPANフェスティバル2025 in 倉吉 ・9月27日(土) 28日(日) 午前10時～午後5時(2日目は午後4時まで) ・主催 (一財)日本やきとり文化振興協会 ・内容 全国のやきとりの名店が集結(地元からも出店あり)。ステージイベント開催 等
BeSeTo演劇祭 舞台作品「梨っこ」 ・10月4日(土) 5日(日) 午後5時30分開演 ・主催 鳥の劇場運営委員会、日本BeSeTo委員会 ・内容 日本・中国・韓国で毎年持ち回りの演劇祭で、9月20日～10月12日まで鳥取県内で開催。サテライト会場の県立美術館では1階ひろまで演劇「梨っこ」が上演される。

4 アート・ラーニング・ラボ(A.L.L. 通称オール)の取組例

県立美術館の特色として、子どもをはじめ、すべての人がアートを身近に感じて楽しむことを目指し「アートを通じた学び」にまつわる実践的な調査研究を行っています。学校教育のほか、子どもも大人も障がいの有無や美術ファンであるか否かを問わず、幅広く様々な人が美術に親しんで創造性を育み、美術を通じて交流できる環境づくりを行っています。

(1) ミュージアム・スタート・パス(小学4年生バス招待事業)

【実施状況】前期(4月～9月実施) 65校来館(予定) 児童数約2,500名

後期(10月～3月実施) 45校来館予定 児童数約2,000名

【学校教員への事後アンケートより】5月～7月来館の41校57名が回答

問1 鑑賞プログラム(100分間)について ちょうど良かった77.2%、短かった14% ほか

問2 鑑賞プログラムの活動内容について 満足86%、やや満足14%

- ・鑑賞カードをもらって嬉しそうにその作品を探したり、自分のお気に入りを描いたりメッセージを書くことで、より主体的に作品を観て感じる事ができるすてきなプログラムだった。「この子がこの作品を選んだ」と意外な驚きもあった。
- ・友達の意見に「たしかに!」と言いながら、自分の感じ方を広げながらじっくりと作品を味わうことができたすばらしい時間だった。
- ・あと10分あると、作品のスケッチの時間が確保できると思った。

問3 子どもたちの当日や事後の反応について とても良かった89.5%、良かった10.5%

(2) 休館日を活用した「障がいのある方のための特別鑑賞会」9月22日

「あーとのとびらをひらく展覧会シリーズ01 小松宏誠展 光と影のモビール けしきと歌」会期中の休館日に、障がいのある方が安心して観覧できる特別鑑賞会を開催します。

人数を限定し、例えば音や大勢の人が苦手な方などの展示室環境に配慮し、ゆったりと作品鑑賞していただけます。また、絵や図の輪郭を盛り上げるなどして指で触って分かるようにした「触図」を設置するほか、3階展望テラスに設置の触って鑑賞する彫刻《お出掛け犬》《抱きつき犬》(中ハシクシゲ、2025年作)を併せて紹介し、視覚障がいのある方の鑑賞機会を提供します。

鳥取県日野郡連携会議の開催結果について

令和7年8月12日

日野振興センター日野振興局

「鳥取県日野郡ふるさと広域連携協約（H27.6.27締結）」に基づき、鳥取県日野郡連携会議を開催し、地域資源の新たな価値の創出により圏域の活性化を図る方策について意見交換し、会議の成果として共同宣言を行いましたので、その概要を報告します。

1 日 時 令和7年8月22日（金）午後4時30分から5時30分まで

2 場 所 米子市観光センター

3 出席者 平井知事、中村日南町長（会長）、埴田日野町長、白石江府町長（ほか関係者）

4 会議の概要

（1）全体テーマ

豊かな自然や地域資源の新たな価値を創出し、活用することで日野郡の活性化を目指す

（2）協議事項

① 森林の循環利用を進め、次世代につなげる林業振興

森林資源が充実した今、「伐って・使って・植えて・育てる」木材の循環利用を推進し、森林の公益的機能の向上とともに持続可能な林業を実現するため、施業地の集約化や皆伐再造林を推進するとともに、林道等路網や高性能林業機械の整備や林業担い手の確保・育成に取り組むことで、木材生産量の増と持続可能な林業を実現し林業・木材産業の活性化を目指す。

意見

- ・施業の奥地化、担い手不足の解決が大きな命題と考える。また、町境にある資源については、多くの合意を必要とするため、手付かずとなっており大きな宝があるように思うので、ぜひ検討を進めていただきたい。（日野町長）
- ・担い手の受入について、江府町が進めている二地域居住も考えられるのではないかと。外から人を受け入れつつ、仕事を紹介することで、よい循環になればと思う。（江府町長）
- ・町や森林組合と相談し、タワーヤード等大型機械の導入など、効率的に森林利用が進むよう体制づくりに協力したい。アカデミーは全県的にみても重要な施設であり、日野郡内だけでなく県内全域で人材を受け入れていくことが必要。地元としてのメリットが出るよう、さらなる活用に協力していきたい。（知事）

② 美しい自然や田園風景など、豊かな景観資源の活用推進

令和7年3月、3町連名で策定した「日野郡自転車活用推進計画」において、「日野郡サイクリングルート」を設定。今後、官民一体となってルート沿線の景観向上に取り組む行動計画を策定し、景観資源の保全・磨き上げ・活用することにより観光誘客や地域の活性化を目指す。

意見

- ・町内にも、木を取り除けば大山が見える場所や星空が美しく見える場所など、整備すれば足を止めて撮影スポットになるポイントがある。日野川沿いのサイクリングルートを中心に、感動を与えられるエリアにしていきたい。（江府町長）
- ・広域景観形成の計画の策定や、計画に基づく民間を含めた取組に対する助成制度を設けているので、モデル的に協力可能。（知事）

③ 台湾との交流促進による観光誘客及び販路拡大

令和6年1月、日野郡産業振興大会に（株）裕源 謝社長が来賓として出席されたことを契機に、同年11月、3町連携による台湾トップセールスを実施し、台湾との繋がりの強化が図られている。米子台北便就航により台湾人観光客の増加が見込まれることから、日野郡のPRを強化し誘客促進と販路拡大を目指す。

意見

- ・米子台北便により利便性が向上し誘客に繋がることが期待され、日野郡3町だけでなく圏域外とも結んでいく必要がある。また、日野高校の職場体験実習の定着化を図りたい。（日野町長）
- ・物産展やサイクリングイベント、日野高校の職場体験など、ぜひ繋がりを発展させていただきたい。台湾の方は各地を廻りつくして新たな観光資源を求めているため、日野郡3町とともにチャレンジしていきたい。（知事）

5 共同宣言の要旨

森林資源の充実、米子台北便の就航といった好材料がそろっている今、森林資源の循環利用を進める環境整備や自然景観の磨き上げにより価値を高め、それを活用することで日野郡の産業発展や交流人口拡大により日野郡の活性化を目指す取組について連携して進めていく。（別添参照）

豊かな自然や地域資源の新たな価値を創出し、活用することで 日野郡の活性化を目指す共同宣言

鳥取県西部6市町村に四季折々の美しい景色をもたらし、歴史・文化を育んできた日野川は、日野郡の自然景観や食文化など人々の生活を豊かなものになっている。

また、日野郡には、総面積の約9割を占める豊かな森林が広がっており、人工林の6割以上が収穫可能な林齢となり、森林資源が充実した今、その公益的機能の向上を図り、基幹産業として持続可能な林業の実現の機が熟している。

さらに、令和7年5月には、米子台北便の就航により台湾とのアクセスが飛躍的に向上し、県西部では、米子鬼太郎空港、境港の2つのゲートウェイが台湾に向けて開かれており、日野郡においても台湾との交流を拡大する好機が訪れている。

こうした好材料がそろっている今、森林資源の循環利用を進める環境整備や自然景観の磨き上げにより価値を高め、それを活用することで日野郡の産業発展や交流人口拡大により日野郡の活性化を目指し、次に掲げる取組を連携して進めていくことに合意し、ここに宣言する。

- 1 「伐って・使って・植えて・育てる」森林資源の循環利用を進め、日野郡の持続可能な林業を実現し、次世代に繋ぐ取組
- 2 「日野郡サイクリングルート」を中心に、美しい自然景観、田園風景など多様な景観資源を保全し磨き上げることで、日野郡の魅力を向上し賑わいを創出する取組
- 3 自然を体感できるアクティビティや歴史文化、日野川やその流域の豊かな自然がもたらす多様な食など、台湾の方々に日野郡の魅力を届け、観光誘客や販路拡大に繋げる取組

令和7年8月22日

<署名> 日南町長、日野町長、江府町長、鳥取県知事

